



なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和5年10月31日 第6号(19-70)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ！』

10/16（月）朝礼校長講話『とある男が授業をしてみた』を観た話

～想いを叶えるために You Tuber で起業～

今朝は You Tuber の話です。今、若者にネット動画が大人気です。『とある男が授業をしてみた』を観たことがある人？（四分の一ほど手が挙がる） 葉一（はいち）さんは教育系動画の草分けで、コロナ禍で三か月間休校になった時期に脚光を浴びました。彼の仕事は小学校四年から高校までの授業動画を、毎日作成して配信することです。分かりやすい授業動画が人気を呼んで、今では登録者は 200 万人！私も試しに中二数学の『データ分析の箱ひげ図』という、昔の教科書にない内容を視聴しました。四分位数を使ってデータを整理する内容は面白かったです。

この葉一さんですが、教育系の大学を卒業した後、教職につかずに営業でセールスマンになり、魅力ある接客を学んだそうです。九か月ほどで学習塾の講師に転職して、子どもたちに勉強を教え始めます。その仕事は楽しくやりがいがありましたが、経済的に恵まれない家庭、つまり学習塾に通えない子どもに教える方法はないものかと考えます。当時 HIKAKIN という You Tuber が人気になったことを知り、その再生回数を見て（これだ！）と思ったそうです。これ、いわゆる起業の第一歩です。起業家教育は大宮中では中二で学びます。社会の要請に自分が応える、つまり『世の中に必要とされる仕事を自分でつくる』という発想です。葉一さんは（この方法なら子どもたちからお金をもらわなくても、You Tube の仕組みでお金を稼げる）と気付きます。その時 27 歳。すぐに妻に相談して、



by 紫帆

三年間だけ挑戦してみようと、最初の授業動画を作って配信します。ポイントは、動画一本 15 分間程度で短く。教科書を理解できるようにする。ホワイトボードに読みやすい字を書いて、図は定規で曲がらないように書く。結婚指輪を外す（！）等を決めます。ところが、最初は全く再生回数が伸びず、子どもたちからの反応もゼロでした。^{ひ ぽ う ち ゅ う し ゚ ゅ う}それどころか「動画で勉強なんてありえない」「教育をナメるな」といった大人からの誹謗中傷が届き、（自分の自己満足に過ぎないのか？）と心が折れかけます。しかし勉強を必要としている子どもたちから「この授業動画は使えない」と NG を出されるまでは続けようと、7 か月で 400 本の動画を配信します。すると徐々に子どもから温かいコメントが届き出します。極めつけは不登校の子どもをもった母親から、「子どもが家庭で動画を観て勉強を続けたら、自信がついて教室に戻ることができて、無事に卒業できました」というお礼の言葉をもらいます。読んだ瞬間、感激して涙が止まらなかったそうです。

葉一さんは、これから自分の目標を叶えるために起業を考える人に、「例えば You Tuber になって成功したいと思ったら、多分皆さんが考えている 100 倍くらいの我慢と継続力が必要です。どの職業にも言える事ですが、成果を出す⇒お金を得るためには、たくさん考えて研究し続ける、実践と失敗の連続です」と語っています。彼は、経済的な問題からの教育格差をなくしたいという強い想いから動き出しました。今の夢は教育系 You Tuber を増やして『You Tube で学ぶことを日本中に浸透させること』だそうです。

まとめます。彼の動画を未見の人は一度視聴してみてください。自宅学習が進みますよ。加えて、皆さんも世の中の課題を解決したいという意識で、あらためて社会を見回してみませんか？ やりたい夢がみつかるかもしれませんよ。😊

※葉一さんの動画は、厳密な意味での授業ではありません。大宮中で毎日 50 分間の充実した授業に挑戦している先生方も、中々すごい存在だと思いませんか？

授業ぶらっと訪問②

10月13日(金) 美田先生③道徳 G組

今日の道徳の内容項目は、よりよい学校生活、集団生活の充実です。授業の冒頭に美田先生から『クラスについて考えよう』と板書がされて、『G組の良いところって?』と問いかけられました。生徒からはすぐに「協力ができる」「認め合う力」「明るい人が一杯いるところ」「楽しいクラス」「人数が少ないところ」「貸し借りができる」といった意見が出てきます。次に『みんな待っているよ』という読み物資料を扱います。美田先生がゆっくりと範読します。

病気で入院して手術をすることが決まった主人公は、クラスの友達と離れ離れになってしまふ寂しさや辛さを抱えて入院する。病院内の院内学級で新しい仲間や学



校のクラスの友達の手紙は声掛けの励ましや応援を受ける。主人公はこれからの手術や入院生活を頑張っ、院内学級や学校の自分のクラスに早く戻ろうと前向きになる、という話です。読み終わりに一緒に考えます。「手紙をもらった主人公の気持ちはどうだった?」ということを考えて意見を出し合います。次に『クラスみんなに励まされたり応援されたときの気持ち』を考えます。タブレット端末のロイロノートを使って、自分の意見をカードに書きこみながら、周りの人のカードの意見も共有します。普段はプリントに記述することが多いのですが、今回はキーボードを使って考えを入力していきます。教室



の前にあるビッグパッドに各自の意見が表示されます。ペンで書くことや言葉で伝えることが苦手な人も、テキパキと入力し

ていました。美田先生の指示で、他の人の意見を画面上で見ながら共有します。全員熱心に読んでいます。最後に『自分にとってG組はどんなクラス?これからどんなクラスにしていきたいか?』ということを考えて発表しあって拍手をして、何だか温かい気持ちになってきたところでチャイムがなりました。

『仲良く笑顔がたくさんあって、楽しく絆を深められるG組』であってください。

10月19日(木)⑤ 瀧本先生 1-B道徳

道徳の研究授業です。視聴覚室で参観者が30人ほどいます。瀧本先生が「これまであきらめたことはありますか?」と聞くと、たくさん手が上がります。「何をあきらめたの?」「テスト。明日のテストでワークを学校に忘れて、もういいやってあきらめた」周りから笑いが起きて、とても和やかな雰囲気、他にも「小学校の時、練習がきつくてサッカーのスタメンになることをあきらめた」「陸上の大会前に骨折して参加をあきらめた」「わからないプリントがあった時あきらめた」次々に意見が出ました。

二つ目の発問「友達から無理だと思うことを相談されたら、どのように答えますか?」二人ペアで、相談者と回答者を決めます。「行きたい高校があって、自分のレベルより高いんだけどどうしたらいい?」「諦めないで時間を見つけてコツコツ頑張れば?」等のやりとりがありました。次に四人グループになって、先ほどの質疑を話し合っていました。1-Bの生徒は、とても和やかに活発に意見交換ができて驚きました。良い意味で中学生っぽくない。発言のたびに拍手が起きるのはいい雰囲気です。瀧本先生が「否定しないのは何故?」と聞きます。「あんまり人の夢を壊したくない。」という優しい言葉。



その後『「どうせ無理」という言葉に負けない』という教科書の読み物に入ります。植松努さんという人物の生き方を考えます。生徒の何人かは知っているようです。北海道でロケット開発に取り組んでいるパイオニアの一人です。ロケットを作りたいと考えた時、周りの人は「そんな物作って何になるの」「そんなの無理」と言われる経験をした。そんな時「だったらこうしてみたら?」と考えて、不幸の連鎖を断ち切る。その結果、本当にロケットを作っしまい、周りを巻き込んだという内容です。この教科書の読み物を瀧本先生が範読します。まとめとして、あきらめたことを思い出して、どうすればよかったかをワークにまとめます。「自分を信じて全力で考える」「諦めたらそこで試合終了だから、やっていると本当に正しいのかももう一回考える」様々な答えが出来てきましたが、「自分を信じて」と言っている人がたくさんいました。瀧本先生は緊張して顔を紅潮させながら、丁寧に語り掛け、生徒の発言に耳を傾けて、全力で授業を進めていました。

修学旅行 (第三学年)

9

27~29

この季節と思えない日差し、暑い三日間でした。一日目は京都駅から大学生ボランティアが班に一人ずつ付きました。立命館、同志社、京都女子大の大学生の案内で、嵐山、竹林、金閣寺、広隆寺、天龍寺、龍安寺、仁和寺、そして宿に近い二条城



などを探訪しました。

二日目は真夏の辛さはないものの、お寺巡りから交通機関やお店に入ると、涼しさにホッとします。多くの生徒が行った清水寺は、外国人と修学旅行生で、動くのがやっとの混雑でした。買い物も大変そうでしたが、試食はちゃっかりしていました。私は久々に伏見稲荷に巡回を仰せつかり行ってきました。ここも10時を過ぎると、千本鳥居はぎゅうぎゅう状態でした。生徒は汗をカキカキ仲良く登っていました。ランチは選びに選んだこだわりの店、うどんやお好み焼き、おばんざいを食べたようです。最後は奈良に移動して東大寺集合でした。南大門や寺の改築で、一部観られないのが残念でした。夜は奈良の元興寺という、世界遺産の寺院で、座禅体験とありがたい法話を拝



聴しました。キリッとした一時間でした。

三日目のメインの法隆寺では、教科書では到底学べない奈良時代の歴史の空気感を感じながら、日本の歴史、文化とのめぐり逢いがありました。3日間の修学旅行で、大宮中3年生は様々な体験を通して、確実に仲間との絆を深め、見聞を広げ



ることができたようです。10月からの成長した姿が今から楽しみです。

職場体験学習 (第2学年)

9

27~29

地域の各事業所のご協力のもと、三日間の職場体験を行いました。大変充実した社会勉強になりました。受入先の事業所の皆様、ありがとうございました。

【受入先】高井戸警察 杉並消防署 杉並児童交通公園 永福図書館 大宮八幡宮 堀之内子供園 大宮ふれあいの家 こすもす生活園 ひがしやま動物病院 ケアサービスデイサービス方南店 ちとせ保育園(参宮橋、仙川) かごしまや ビッグフラワー永福店 レクス浜田山 サミット(妙法寺、和泉) スーパースリー 中野南台店 アキッチョデンカ方南町店 けやき亭 プラティハ方南町店(美容院) 川名肉店 カフェ missponne 八十八 おうち保育園 (敬称略)

《教育実習生紹介》

実習生 八木澤 一道
明星大学教育学部教育学科の国語コースから来ました、八木澤一道です。教科は国語で、2年A組所属です。見かけたら声をかけるので、みなさんも気軽に声をかけてくれると嬉しいです。



by 眞生

中学校の頃は野球部に所属していました。大宮中学校には野球部はありませんが、いろいろな部活を見て回っていきます。全力で部活動に取り組む姿をぜひ見せてください。みなさんが楽しかったと思えるように全力で取り組んで参りますので、短い間(10/6~10/27)ではありますが、よろしくお願いします。

スローガン：「個声の結晶」
～今しか歌えない仲間と共に～

今年度はコロナ禍の影響から解放されて、順調に練習を重ねてセッション杉並で開催しました。内容は音楽発表会から文化発表会に看板を付け替えて、音楽的な発表に止まらず、文化的な発表も行いました。当日は保護者一学年 70 名、二学年 53 名、三学年 46 名、来賓、一般 16 名のご参観をいただきました。ありがとうございました。9 月から音楽の授業を中心に合唱の練習が始まり、9 月の土曜授業で、区内の私立杉並学院高校のOBOGによる『菊華アンサンブル』合唱団を招聘しました。アマチュアの全国水準の合唱に触れた



後に、各学級でご指導をいただきました。

三年生の修学旅行が終わり、10月の声を聞く頃、玄関の大型モニターで、過去の音楽発表会の動画を流しました。本番二週間前から、放課後練習が始まりました。20分×2回の練習では、最初は指揮者の動きもぎこちなく、歌い手も楽譜を見ながらでした。感心したのはパート練習や合唱の合わせの後、実行委員や指揮者、伴奏者から積極的に意見が出てきて、磨きがかかることです。本番までの練習のプロセスは、全体として百点でした。

当日は朝から大宮中に登校して、最後の練習をしてから、セッションに全員で移動しました。開会式では、校長が嫌々(?)ワンフレーズ歌って「ホールは気持ちいい～」と叫び、生徒の緊張がほぐれたかもしれません。10時



半から開会し、G組の歌と器楽演奏がオープニングで、緊張しながらも大きな声で歌い、巧みに楽器を奏でていました。一年生の合唱はB,C,A組の順番で、若々しい声でどの学級も甲乙つけがたい出来栄でした。二年生はだいぶ大人びた声になっており、B,Aの順番で、男声、女声のバランスのとれた落ち着いた声が響きました。課題曲『心の瞳』の学年合唱がとてもきれいでした。

三年生の合唱は、学年合唱の『春に』が聴衆の心に響き、思わず涙ぐんでいる審査員もありました。自由曲B組『手紙』、A組『道』も大人っぽい声で、聴いていて引き込まれました。私も心が震えて泣きました。

そして審査の結果は以下の通りでした。

- ☆熱演賞：G組『365日の紙飛行機』
- ☆最優秀賞：3年B組『手紙』
- ☆優秀賞：2年A組『時を越えて』
- ☆優良賞：3年A組『道』
- ☆ポスターコンクール最優秀賞：G組
- ☆ポスターコンクール優秀賞：3年A組

午後からは、PTA教職員コーラスのパフォーマンスで会場が盛り上がります。軽音楽部のバンド演奏に拍手や手拍子で沸き、最後にオ



ーストラリアのウィロビー海外派遣生徒の報告会を行いました。日本とオーストラリアの文化の違いや中学校の英語教育への提案などがあり、生徒は興味深そうに聴いていました。一日の学校行事を通して、生徒の成長を確かめられる貴重な時間となりました。

